



台湾のヒメメジロ *Zosterops simplex simplex* による ブラジルデイゴ *Erythrina speciosa* からの盗蜜

上田恵介*・上田明子

〒350-0312 埼玉県比企郡鳩山町鳩が丘 2-12-18

花粉媒介動物が、花粉媒介の報酬として花から蜜を受け取るのに対し、鳥や昆虫が花粉を媒介しないで、蜜だけを花から一方的に搾取する行動を盗蜜行動と言う（河野・井上 1992）。多くの動物に見られる普遍的な盗蜜方法は、花の基部の蜜腺に近い部分に穴をあけて蜜を盗むやり方で、この行動は花蜜食の昆虫や鳥が、通常の方法では口吻や嘴が蜜腺に届かないときに行われることが多い（田中 1993）。

亜熱帯域に位置する台湾にはメジロの近縁のヒメメジロ *Zosterops simplex simplex* が生息する（Lim ほか 2018）。このヒメメジロについては過去にハイビスカスからの盗蜜行動が報告されているが（上田 1999）、それ以外の花からの盗蜜に関する報告はなかった。著者らは 2026 年 2 月に台湾を訪問した際に、ヒメメジロがブラジルデイゴ *Erythrina speciosa* の花からの盗蜜を

行っているのを観察したのでここに報告する。

観察は 2026 年 2 月 4 日に著者らが台湾北部の石門水庫溪州公園（台湾桃園市）を訪れたときに行った。石門水庫はロックフィル式のダムで、上のダムの下は別のダム湖を囲む公園になっており（図 1）、遊歩道が整備され、道の両側にはカンヒザクラ（台湾ンザクラ）*Cerasus campanulata* をはじめとして、様々な花木が植栽されており、ブラジルデイゴもその一つであった。ここでクロヒヨドリ *Hypsipetes madagascariensis* やゴシキドリ *Psilopogon annamensis* を観察中に、飛来した 10 羽余りのヒメメジロの群れが公園に植栽されているブラジルデイゴの花に集まり、花の基部に穴を開けて、蜜を吸っているのを観察した（図 2）。

ブラジルデイゴはブラジル原産のマメ科デイゴ属 *Erythrina* の栽培種で、近年、台湾の各地



図 1. 石門水庫の風景

Fig.1. Shih-men reservoir in northern Taiwan.

2026 年 3 月 6 日 受理

キーワード：ヒメメジロ、盗蜜、ブラジルデイゴ、送粉システム

*: keisuke@alrikkyo.ac.jp



図2. ブラジルデイゴから盗蜜するメジロ（木村弘美撮影）

Fig. 2. Swinhoe's White-eye robbing nectar from Brazilian Coral Tree. Photographed by Hiromi Kimura.

に植栽されている。原産地の南米では嘴の長いハチドリ類が花粉媒介者になっていることが知られている（Mendonça & dos Anjos 2006）が、ヒメメジロは筒状花を持つブラジルデイゴの花冠の側から蜜を吸うことはできない。このことがヒメメジロに盗蜜という行動をとらせているのだと思われる。

最後に、台湾へのバードウォッチングに同行し、ヒメメジロが盗蜜している瞬間の写真を提供していただいた木村弘美さんに感謝を申し上げる。

引用文献

- 市野隆雄・堀田満. 1993. 脊椎動物による送粉. 花に引き寄せられる動物 (シリーズ地球共生系4, 井上民二・加藤真 編). pp.175-194. 平凡社, 東京.
- 河野昭一・井上健. 1992. 送粉システムの進化. 昆虫を誘い寄せる戦略 (シリーズ 地球共生系3, 井上健・湯本貴和 編). pp. 9-42. 平凡社, 東京.
- Lim, B. T., Sadanandan, K. R., Dingle, C., Leung, Y. Y., Prawiradilaga, D. M., Irham, M., Ashari, H., Lee, J. G., & Rheindt, F. E. 2018. Molecular evidence suggests radical revision of species limits in the Great speciator white-eye genus *zosterops*. J. Ornithol. 160:1-16.
- Luciana Baza Mendonça & Luiz dos Anjos 2006. Feeding behavior of hummingbirds and perching birds on *Erythrina speciosa* Andrews (Fabaceae) flowers in an urban area, Londrina, Paraná, Brazil. Rev. Bras. Zool. 23 (1) <https://doi.org/10.1590/S0101-81752006000100002>
- 田中肇. 1993. 花に秘められたなぞを解くために-花生態学入門-. pp.174. 農村文化社, 東京.
- 上田恵介. 1999. 日本南部の島々におけるメジロ *Zosterops japonica* の盗蜜行動の広がり. 日鳥学誌. 48: 79-86.

Nectar robbing from Brazilian deigo *Erythrina speciosa*
by the Swinhoe's White-eye *Zosterops simplex simplex*

Keisuke Ueda* & Akiko Ueda

2-12-18 Hatogaoka, Hatoyama, Saitama 350-0312, Japan

While pollinators obtain nectar from flowers as a reward for pollination, some birds and insects extract nectar without transferring pollen, a behavior known as nectar theft. Nectar robbing is a form of nectar theft in which a hole is made at the base of a flower near the nectary to access nectar. This behavior typically occurs when nectar-feeding insects and birds cannot reach the nectary with their proboscis or bill by legitimate means. We report an observation of Swinhoe's white-eyes *Zosterops simplex simplex* robbing nectar from flowers of the introduced Brazilian deigo *Erythrina speciosa* during a visit to Taiwan in February 2026.

Keywords : Swinhoe's White-eye, Nectar robbing, Brazilian deigo, Polination system

*: keisuke@al.rikkyo.ac.jp